

令和7年2月15日

「なはーと」をご利用予定の皆様へ

劇場の舞台技術スタッフで対応が可能な催事の規模等について

平素より「なはーと」の安全な公演制作環境の整備、事故防止、危機管理等の安全衛生対策にご協力いただきありがとうございます。

この度、「なはーと」では、舞台の機材等のセッティング（舞台・音響・照明等の仕込みからバラシ）などについて、主催者で舞台技術業務者を手配することなく行うことができる催事の要件等を、別添とおり策定したのでご確認ください。

なお、舞台の機材等のセッティングなどは、「劇場等演出空間の運用および安全に関するガイドライン（劇場等演出空間運用基準協議会発行）」に基づき、原則、主催者の舞台技術業務者にて対応いただいております。よって、別添の内容に該当しない催事等につきましては、主催者にて舞台技術業務者をご手配いただきますよう重ねてお願い申し上げます。

【なはーとご利用にあたって】

どの施設も、常設の演台やマイク等はありません。主催者が催事内容に合わせて、舞台道具の設置、マイクを含む音響機材の設置、照明を創る必要があります。

「劇場等演出空間の運用および安全に関するガイドライン」は公演制作現場事故をきっかけに、劇場の演出空間に関わる方々の安全衛生を確保するための共通認識として劇場等演出空間運用基準協議会が策定したものです。

URL: <https://www.kijunkyo.jp/>

劇場の舞台技術スタッフで 対応が可能な催事の規模等について

1.【催事内容】

次の(1)～(3)の全てを満たす催事

(1) 大・小劇場のどちらかの施設でのみで行う催事
(同一主催者において、2施設同時に催事を行う場合は対象外です。)

(2) アトラクション及び照明や音響の演出がない催事

演出とは・・・

例：公演中の舞台上照明のオンオフ(※休憩時間の客電の点消灯は含まず)
ホリゾントライトのセッティング及び操作
楽器等の音や歌声を拡張するためのマイクの設置及び操作
曲中のライトチェンジ

(3) 舞台上に大道具等のセットがない催事

(1)～(3)に該当する催事例

演出のないピアノ等の音楽発表会、コンクール
演出のないオーケストラコンサート
アトラクション及び演出のない講演会
合唱コンクール

2.【劇場の舞台技術スタッフで対応できる作業内容】

	作業内容
舞台	<u>劇場の舞台技術スタッフのみで対応できる作業内容はありません。</u> 貸出備品の運搬・吊り替えを含め、仕込みからバラシまで、主催者のサポートを行います。 少量であれば貸出備品を舞台まで運ぶことはありますが、位置決めや公演中の備品等の設置替えの作業は主催者で行ってください。 オーケストラピットや客席の仕様変更は劇場の舞台技術管理業務者主導で行いますが、一緒に作業いただく方を手配ください。(人数については、作業内容や催事のタイムスケジュールにより変わるため、ご相談ください。) ※舞台監督を引き受けることはできません。 ※機構操作(反射板・バトンの昇降)は劇場の舞台技術管理業務者に限ります。
照明	フラットな明かりのセッティング (照明 B セット・C セット・D セット)

音響	マイク	ワイヤレスマイク2本（司会者や講演者用） 影アナ用マイク1本 の計3本のマイクセッティング ※当劇場の備品を使用する場合に限ります。 ※ピンマイク、楽器用マイクは演出作業となるため対応できません。
	スピーカー	常設スピーカーのセッティング ※主催者の要望でスピーカーを追加する場合は対応できません。
	CD デッキ	セッティング ※再生・停止・録音などの操作は対応できません。主催者で行ってください。
映像	<u>劇場の舞台技術スタッフのみで対応できる作業内容はありません。</u> ※サポートはしますが、映像専門の舞台技術スタッフはおりません。 プロジェクター使用の場合 ・HDMI がついている PC、もしくは HDMI への変換ケーブルが必要です。 ・舞台袖から操作位置まで届く長さの HDMI ケーブルをご用意ください。 プロジェクター使用で音声の出力がある場合 ・パソコン 1 台で、音量が一定の場合のみサポート可能です。 ・映像ワゴンは貸出可能ですが、操作は主催者で行ってください。 ・音声の Mix がある場合は、設置及び操作可能な技術者を手配してください。 配信や web 会議などの機器設置は対応できません。 主催者にて対応可能な方を手配してください。	

3. 【劇場の舞台技術スタッフで対応する場合の**遵守事項**】

劇場の舞台技術スタッフでの対応をご希望の場合、以下の（１）～（６）を遵守ください。

- （１） 劇場の舞台技術スタッフで対応する準備・片付けの時間も、借用時間に含めてください。

設営にかかる時間（参考）

	準備	片付け
音響及び照明のセッティング	60 分	60 分
反射板設置	45 分	45 分
オーケストラピット設置(大劇場)	30 分	30 分
車いす席追加（大劇場）IJ 列全部	60 分	60 分
車いす席追加（大劇場）IJ 列上手ブロックのみ	15 分	15 分
車いす席追加（大劇場）IJ 列下手ブロックのみ	15 分	15 分
車いす席追加（大劇場）IJ 列中央ブロックのみ	30 分	30 分
客席形状変更（小劇場）	45 分	45 分
車いす席追加（小劇場）	20 分	20 分

ひな壇設置	45 分	45 分
プロジェクター画角調整	30 分	—
看板やスクリーンなどの設置・吊り替え	30 分	20 分
ピアノ調律 ※1 A=441～443Hz の範囲外で調律をする場合は、 A=442Hz に戻す調律も必要です。	調律師にお 問い合わせ ください。	— ※1

※複数設置の場合はそれぞれの時間を加算（同時に作業できる場合も有。）

- (2) 劇場の舞台技術スタッフで対応する場合も、舞台の稼働時間帯は舞台監督または舞台責任者（安全管理や進行等）を配置してください。
※舞台監督または舞台責任者は、会場責任者及び出演者でない者を配置してください。
- (3) ピアノの調律の有無は主催者で判断し、主催者にて調律師を手配してください。
- (4) 11 時～14 時の間、17 時～19 時の間に各 1 時間の舞台休憩を確保してください。
- (5) 舞台の仕込み・バラシの作業中は空調を稼働してください。なお、空調使用料は主催者の負担とします。
- (6) 主催者の手配する舞台技術業務者の作業の一部を代替して担うものではありません。